



市街地に突如現れる 緑豊かな静寂の地 正一位 横割八幡宮

富士駅南口から東に徒歩 10 分ほどの所に大きな御神木がそびえる「正一位 横割八幡宮」があります。富士川の合戦の折、源頼朝が戦勝祈願し、成就したことから村では霊験あらたかな神様としてあつく信仰されました。今でも源頼朝が馬とともに奉納した鍬（やじり）が保管されています。

この地は、昔から大きな災難に見舞われることもなく、隣郷で多くの家屋が被災した宝永 4 年（1707 年）の大地震、続く富士山大噴火の際にも安穩に過ぎたといわれています。これに感謝した住人の働きかけにより、宝永 6 年（1709 年）、神位の最高位である「正一位」が授けられました。

御神木である大きなクスノキをはじめ、多くの木々に囲まれた「正一位 横割八幡宮」へぜひお参りください。



御神木のクスノキは
市指定天然記念物

拝殿の奥にある本殿

議会にひと言

11 ページで紹介した富士市立高校生との懇談会終了後、参加した生徒に、今後の富士市に望むことを聞きました。
(インタビューア：井出晴美)

富 士市は、親切な方が多く地域コミュニティーがしっかりした住み心地のよいまちです。市のよさをきちんとPRすれば、県外からの移住者も増え人口減少対策につながると思います。



総合探究科 3年 吉川 生吹さん

2 年生の時にフィールドワークで富士市の観光や特産品について学び、富士市ならではの食文化があることを知りました。中には市民でも知らないものもあり、PRを工夫して、遠出ができないコロナ禍でも楽しめるようにしてほしいと思います。

総合探究科 3年 中野 千愛さん


編集後記

高齢者へのワクチン接種が始まり、少しずつですがコロナ禍の収束に向けて前進しているように感じます。マスクをつけずに、取材やインタビューができる日が、早く訪れることを願っています。
(吉川 隆之)



議会 vol.13 ヒストリー

「公害のデパート 富士市」の汚名返上、公害行政から環境行政へ



海上デモと大集会

本市は高度経済成長期に、田子の浦港のヘド口をはじめ、あらゆる公害が存在するまちとして、「公害のデパート 富士市」とやゆされました。

富士市議会では、昭和 42 年に公害対策特別委員会を設置し、昭和 46 年に発足した富士市公害対策審議会の委員として参画するなど、公害問題に正面から立ち向かい、克服に力を注いできました。

その後、公害問題は徐々に改善し、平成 10 年に公害課から環境保全課へ名称変更されたことにより、行政組織から「公害」の文字が消えるなど、公害行政から環境行政へと大きな変化を遂げていきました。
(担当：佐野智昭)

次回 定例会予告

9月定例会は、9月10日から10月12日まで開催され、一般・特別会計、企業会計の決算審査等が行われる予定です。

発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地

☎ 0545 (55) 2878 (直通)

ウェブサイト

富士市議会

検索